

しんが

童心にかえって

5月24日、鹿部中学校体育祭が行なわれました。

「それ、走れ」「それ、負けるな」と歓声もいちだんと高くグラウンドにひびきました。

この日は子供やお孫さんの体育祭とあつて昼食の風呂敷づつみをもったおばあちゃんや顔をしわくちゃにしたおじいちゃんなどたくさんの方が集まり、さかんに応援の拍手を送っていました。

これからの暑い夏を前に身体をきたえておきましょう。

写真は玉入れ競技をする大岩地区の父兄の皆さん



2年連続優勝

(本別チーム)

第2回

村内駅伝大会終る



第二回村内駅伝大会は五月十六日鹿部村体育協会および鹿部村教育委員会の主催で行なわれました。この日はあたたかい日で全コース十四キロを各四名の選手で争われ、昨年とひきつづき二年連続優勝をとげた本別チームは昨年のタイム53分43秒をやぶる記録(53分03秒)を出しました。

とくに今年から中学生も加わり、中学生は全コース十四キロを八名づつの選手であらそいましたが結局、タイム51分37秒で鹿部チームが第一回の優勝をしました。

各地区の住民からも選手に対する応援の拍手がおくられ、盛大に終了することができました。

各選手の個人記録は次のとおりです。



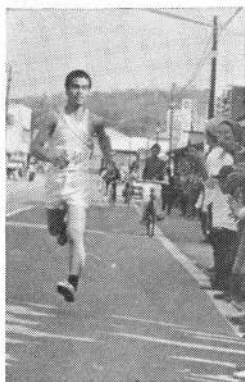
鹿部村第2回駅伝マラソン大会記録 (昭45.5.16実施)

一般の部

		全コース 14km	1区(函バス前→吉田武雄) 3.8km	2区(吉田武雄→小西旅館) 3.8km	3区(小西旅館→大岩) 3.2km	4区(大岩→坂田呉服店) 3.2km
順位	チーム名	所要時間	区間時間 走者名	区間時間 走者名	区間時間 走者名	区間時間 走者名
優勝	本別	53分03秒	① 13分21秒 松本幸男	① 13分41秒 中村輝己	① 13分57秒 高本秋男	② 12分04秒 松本寿男
2位	大岩	53分17秒	② 23"00 岩島孝	② 14"00 千葉光義	③ 14"54 梶谷	① 11"23 盛田健一
3位	鹿部	56分12秒	① 12"43 横山幹夫	③ 15"05 福地正信	③ 14"光雄	④ 13"32 川村進
4位	宮浜	56分17秒	③ 13"20 長根山信昭	④ 15"43 福地一郎	② 14"37 平野広美	③ 12"56 松本善一

中学生の部

		全コース 14km	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区
順位	チーム名	所要時間	時間走者名	時間走者名	時間走者名	時間走者名	時間走者名	時間走者名	時間走者名	時間走者名
優勝	鹿部	51分37秒	6分44秒 武藤勇	6分29秒 原田昌明	6分45秒 川村文男	6分24秒 岩島司	7分38秒 山田正人	7分15秒 山本薫	7分22秒 吉紀明	5分29秒 佐藤竜雄
2位	本別	51分59秒	6"49 三国茂樹	5"36 松本悦美	6"29 込山英之	7"17 三国茂樹	6"59 新山稔	7"23 種崎隆男	8"03 三谷	4"56 松本利弘
3位	大岩	53分04秒	6"43 川村松男	6"30 推野秀一	6"10 佐藤浩	7"02 千葉明美	8"41 樋爪正志	8"41 佐藤重治	6"42 熊川敏之	5"31 盛田正幸
4位	宮浜	53分58秒	6"56 中野徳雄	6"47 吉川	6"18 松本秀樹	7"57 山岸	7"25 大清水泰樹	7"21 金沢多為二	7"13 佐藤鉄雄	4"57 出雲貞夫



地域ぐるみの交通安全教育を

どのようにしたらよいか



(主催者だけの座談会場)

前回まで「地域ぐるみの交通安全教育をどのようにしたらよいか」を掲載し、新入学児童を交通事故から守る運動の一環として表題をテーマとし、各地域のみなさんと交通安全座談会をもち、この回の最後にふさわしい座談会の内容を広報に登載できることを期待したのですが、時間的なことなどもありましたが、本別地区においては一人りも集まらず、宮浜地区においても二人りだけより集まってもらえませんでした。

このことは今後の地域ぐるみの交通安全運動をすゝめうるうえに、考えさせられるものがあり、今後のすゝめ方、交通安全に対する考え方をあらためる必要があります。

▼交通安全は行政だけの問題ではありません。村推進委員会および村交通安全協会は、これまで事故のない村にするため、広報啓発、指導を行って来ました。しかし、これらは一方的に終わっているように思われます。

自分の家で事故にあったときなどはじめてそのおそろしさを知ります。また、そんな時にはじめて交通安全に対する要求や要望を村にいます。

しかし、その前にあなた自身が正しい歩行、正しい運転をしているでしょうか、交通安全運動は行政の立

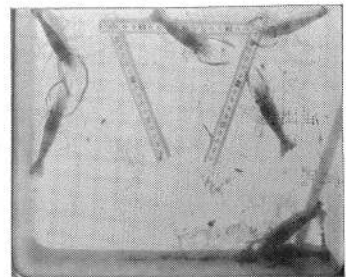
前回まで「地域ぐるみの交通安全教育をどのようにしたらよいか」を掲載し、新入学児童を交通事故から守る運動の一環として表題をテーマとし、各地域のみなさんと交通安全座談会をもち、この回の最後にふさわしい座談会の内容を広報に登載できることを期待したのですが、時間的なことなどもありましたが、本別地区においては一人りも集まらず、宮浜地区においても二人りだけより集まってもらえませんでした。

カラフトマスなどの

企業化試験事業はじまる

道立水産孵化場鹿部温水利用試験場では今年からカラフトマスなどの企業化試験事業が新しくはじまりました。

現在企業化試験事業として行な



われているカラフトマスは北海道産(海水養殖)で四十四あまりがおります。これは生長が早いという点で今年、岩内町などで大々的に試験事業をすゝめております。この他、採苗化試験事業として新しくはじめたものは

オニ手長エビ(マレーシヤ産)が四十四、ブルーギル(北米産)が四百四十四尾あり、これらもあわせて試験されております。

鹿部村でも今年から「うなぎ」の養殖事業をはじめました。

このうなぎは、九州から二万一千匹購入されました。この他村で養殖および採苗事業として行なっている「にじます」は現在、新魚が二千五百、稚魚二十万尾おります。これらがみなさんの食前に飾られるのも近いことでしょう。

高令者に最後の機会です

加入しましょう 国民年金

国民年金は老後の生活保障をはじめ、不慮の事故や病気になったときに、生活がこまらぬようにと昭和三十六年につくられた制度です。制定当時すでに五十歳以上五十五未満の人は、昭和三十六年三月三十一日までに加入の希望を申し出た人だけが、国民年金に加入することができました。

しかし、制度の内容についてよくわからなかったため、国民年金に加入しなかった多くの人たちのために、昨年法律が改正され、この人たちが加入できるようになりました。

▼加入できる人は

明治三十九年四月二日から四十

四年四月一日までの間に生れた人で他のいずれの年金にも加入しておらず、かつ他の制度から年金を受ける資格を満たしていない人です。

▼加入の申出期間は

昭和四十五年六月三十日まで

▲保険料は

月七百五十円で申し出のした月から五年間納めなければなりません。

▼年金の額は

年額三万円月額二千五百円の老令年金が支給されます。

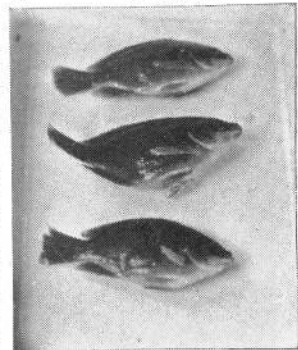
▼加入の手続きは

村役場年金係まで印鑑持参のうえおいで下さい。

ゴミ収集日

変りました

五月一日から全村にわたってゴミの収集を実施しましたが、収集業者と他町村との関連のためどうしても日程の折り合いがつかないことから再度つぎのように変更になりましたのでお知らせいたします。



▼ゴミ収集日

大岩・鹿部地区(毎週金曜日)

宮浜・本別地区(毎週土曜日)

▼厳重に守っていただきたいこと

収集日前にゴミを置いておく所が多く見受けられますが、そのため雨、風にさらされてちらかったり、悪臭を放したりして、周囲が不潔となり収集場所附近の家に迷惑がかかりますので、ゴミは収集日の朝に持って行って下さい。

▼ゴミ捨て場の注意

村で指定したゴミ捨て場へぬき石の下は道々に面し、出入口中央にゴミなどを捨てているのが目立ちます。観光面、環境衛生面からつぎのことを守って下さい。

- ① 出入口には捨てないこと
- ② 奥の方から埋めてするように捨てること
- ③ 臭いのつくさんばん(魚の内臓など)は、ナイロンなどの袋に入れて捨てて下さい。

場からの指導や広報だけで終るのではなく、みんなが一人一人自確し、交通安全に対する協力理解を深めて行きたいものです。

▼子供は親のまねをします
まだまだ子供には見せたくない歩行をしている大人がおります。たとえば

- (1) 道路上での立話し
 - (2) 自転車の二人り乗り
 - (3) 道路を横になって歩く
 - (4) 道路を右も左もなく、時には真中を歩く、またななめ横断をする
- 子供の悪い手本にはなりたくありません。みなさん、地域ぐるみの交通安全教育をすすめるためにも協力をお願いいたします。

交通事故相談早わかり (その1)

クもう少し気をつけていたら……交通事故をおこした運転者の方も被害を受けた方も注意が足りなかったことを悔んでおられることでしょうか。

毎回連載いたします。これはどのようにして損害賠償の問題を解決したらよいかをわかりやすくとりまとめ、みなさんにお知らせいたします。

▼加害者だったら

◎被害者をまず病院へ

軽いけがでも、また、外傷がなくても痛みを訴えるようであれば、必ず病院へ運び、医師に診てもらっておくことが必要です。むち打ち症などであとで治療が長びく場合がよくありますが、医師に診せていないとそのときの事故によるけがだったという証明ができないため、保険金ももらえない結果になることがあります。

◎警察へ届ける

小さな事故だからと勝手に判断して、救護をおこたり警察への届け出をしなかったら、ひき逃げ事故や不申告として重く処罰されます。さらに被害者のけがが意外に重く、治療が長びき、保険金

を請求したいと思っても警察への届けをしなければ交通事故証明がもらえませんから全部自弁ということになりかねません。

▼被害者だったら

◎相手をたしかめる
まず、相手の車のナンバーを覚えておくことです。悪質な運転者ですとそのまゝ逃げてしまったり、病院まで運んでから姿をくらましたりする場合があります。

◎軽いけがでも医師の診断を

あやまっていないんだからと相手に同情して、医師の診断を受けないでおくことは禁物です。相手といっしょに禁物病院へ行きましょう。事故当時は、たいしたことはないと思っても、あとになって意外に傷が大きいことがわかり、こまるようなことがよくあります。相手が警察へ届け

たかどうかをたしかめて、相手が警察へ届けることをちゆうちよしてやるようなときはこちらから警察へ連絡しましょう。

衣

ことしの「ついでり」は十一日です。「ついでり」というのは「梅雨入り」つまり入梅です。

このごろは、家じゆうがじめじめして、うっかりするとすぐかびがはえます。とくに注意したいところは台所です。食器はもちろんのこと、マナ板、包丁など使ったあと必ず熱湯で消毒して、きれいなところに保管したいものです。よごれた衣類など、つい忙しさにまぎれて押入れにつこんでおくと一日でかびがはえたり、異様な臭いを発します。つゆといっても時には晴れ間もありますから晴れたら窓や戸をあけて風を入れ、中の衣類や寝具には日を当てるよう心がけましょう。

健康

夏かぜは冬のかぜとちがって熱はあまりなく、のどや鼻の粘膜がはれて何となくだるいのが特徴です。とくに雨の日は気温はそれほど低くなくても湿度が高いために冷えこみます。家庭でも気温に合わせこまめに衣服をかえるよう考えたいものです。寝ている子供には、とかく上からふとんをかぶせておけばいいといりわけにはいきません。肩から足のつま先までふとんむしにされたようにかけられています。暑くてもおなかに毛布を重ねて、少しぐらいあばれ

食

食塩といえは、調味とということだけにあるものとはかり思われませんが、こんなときに役立つということを知ること。

たとえば①くだもの野菜の酸化による色がわりを防ぐ。むいたりんごやじゃがいもを塩水につけると色が変わりません。また、青菜をゆでるとき塩をひとつまみいれると緑がきれいにします。②塩づけの魚の塩出しをするとき、よび塩がはやく出ます。③暑い時期にたまごを塩や塩水に入れておくことと保存がききます。④障子を張りかえるとき、のりの中に塩を少しまぜて使うと、乾いてからちぢみません。⑤布類に血がついたとき、濃い塩水につけてから洗うとよくとれます。

住

高温多湿のこのごろいちばん気になるのは台所や風呂場の臭気ですが、やたらに市販の脱臭剤や芳香油をまくのは考えものです。

この悪臭は前にまいた芳香剤の油分が残っていて、それが湿気をふくんで臭ってくる場合もありますから、まず風通しをよくしてにえ立った熱湯でよくすすみずみ洗いおとし、乾ききってから脱臭芳香剤をふりまきましょう。

乾かないうちに薬剤をまいてもききめはありませんから、そのときはハヤ・ドライヤーなど使ってみて徹底的にやってみましょう。

食

